

偽造ベアリング対策・第七次訪中ミッション

当会は、2007年11月25日～12月1日、第七次ミッションを中国へ派遣した。今回は、中国質量技術監督局検査検疫総局の要請のもとに、特許庁、JETROの御支援を得て、地方政府の取締機関である質量技術監督局（TSB）職員を対象としたセミナーを開催した。また海関総署と会談を行い、従来から検討課題となっていた次回の税関セミナー開催などについて協議を行った。

1. TSB 職員対象のセミナー開催

主催：中国質量技術監督局検査検疫総局、省 TSB、日本ベアリング工業会

参加者：合計約 110 名

【山東省】開催地：済南市（省都）

対象機関：山東省 TSB、聊城市 TSB、臨清市 TSB

【浙江省】開催地：杭州市（省都）

対象機関：浙江省 TSB、杭州市 TSB、紹興市 TSB、寧波市 TSB、
慈溪市 TSB、上虞市 TSB、余姚市 TSB、新昌県 TSB、

（１）セミナーの概要

ベアリングの機能・用途、偽造ベアリングの危険性について説明した上で、ノーブランド品対策をはじめとする今後の摘発手法（製造設備の押収を含め）について意見交換を行った。

（２）成果

今年急に深刻さを増していった食料品・玩具の品質問題への緊急対応で、TSB は多忙で開催自体も危ぶまれる状況であったが、現地においても JETRO 北京の強力な支援により、多数の現場職員の参加を得ることができた。

また今回のセミナーでは、省レベルの地方 TSB 幹部のみならず、市レベルの職員に対して、広く偽造ベアリングに特化した情報提供と意見交換を行うことができ、今後の摘発に活かされることが期待される。



山東省におけるセミナーの様様



浙江省におけるセミナーの様様

（３）事前摘発

ミッション派遣の直前に、両省 TSB は摘発を実施し大きな成果を上げたとの内々の情報提供があった。山東省では 5 件（約 10 万個）、浙江省では 1 件（5.2 万個）が摘発され、一部業者は刑事移送される見込み。

2. 海関総署との会談

11 月 26 日、海関総署の李群英処長と会談し、次回セミナーについて来年内陸部（昆明市、南寧市）の税関を対象とした開催を検討することになった。

また、海関内部で内々に現場職員が携行使用する真贋判定用ハンドブックの作成を開始したばかりとの情報に接し、日本のベアリング企業の情報も当会より提供し、掲載することで合意した。